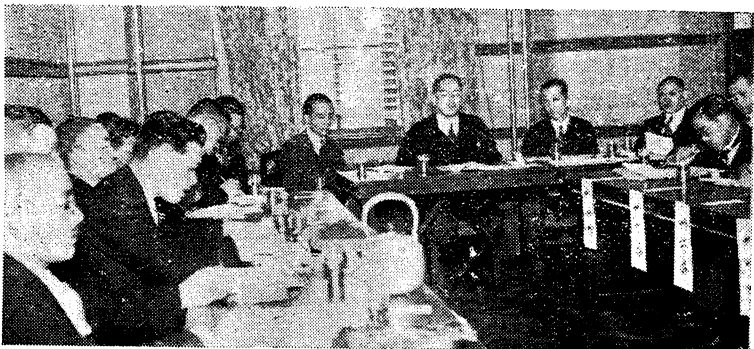


郡市別	内				總數
	沿岸漁獲物	遠洋漁業	水産養殖	水産製造物	
水戸市	九五三	—	六五八	—	一、六一一
東茨城郡	三一九、〇七三	一七、一一〇	五四、四三六	二七三、一四〇	六六三、七五九
西茨城郡	五六五	—	九四四	—	一、五〇九
那珂郡	三六六、七一一	八四六、〇九四	四、三二二	四一七、四九一	一、六三四、六二〇
久慈郡	三八、七四五	九六九、七九〇	一、四〇七	一、二一八、三九五	二、二二八、三三七
多賀郡	一、一七三、五二〇	一二六、一四五	二五六	二、三八七、七〇五	三、六八七、六二六
鹿島郡	三、九五八、八九八	三、五〇〇	一、七七五	四、五五六、一七五	八、五二〇、三四八
行方郡	一四三、八二七	—	一、六五四	—	二四五、三七八
稲敷郡	七七、八一九	—	一、〇一三	—	八五、六六二
新治郡	一一八、六〇八	—	一一〇、一二八	二〇四、四三〇	三三三、一六六
筑波郡	五、五九七	—	二、六八〇	—	八、二七七
眞壁郡	九、六一六	—	一、九〇六	—	一一、五二二
結城郡	七、五四九	—	九四九	—	八、四九八
猿島郡	一三、九三〇	—	一一、二〇〇	—	二五、一三〇
北相馬郡	一二、七三七	—	六〇〇	—	一三、三三七
合 計	一七、四六八、七八〇	一、九六二、六三九	九三、九二八	九、一六四、〇六三	



## 体験を基礎に……

# 統計座談會

各郡の精鋭を一堂に集めて  
三月二十五日茨城會館に開催

統計座談會は三月二十五日午前十一時から統計協議會に引き続き茨城會館食堂に開催された。川崎統計課長座席につき囑託加藤敬愛氏を一同に紹介し各郡から選ばれた統計の權威が各自の体験に基づく意見の開陳を試み、多大の收穫を得て午後一時散會、午餐を共にして解散した。座談會の内容は大要左の如くである。

### 出席者

【縣統計協會側】川崎統計課長(副會長)、小林綠、成瀬常吉、高島萬藏、齋藤清市(各幹事)加藤敬愛(囑託)  
 【各郡町村側】藤地伴介(東茨城郡上中妻村)宇都野久三(西茨城郡岩間町)岡崎輝吉(那珂郡鹽田村)助川國勝(久慈郡賀美村)田村實(多賀郡坂上村)大崎健爾(鹿島郡大同村)正木邦司(行方郡麻生町)油原眞(稻敷郡柴崎村)來栖吉一(新治郡藤澤村)飯岡榮助(筑波郡高道祖村)横瀬定平(眞壁郡大寶村)中島良平(結城郡豊岡村)加藤由之助(猿島郡長田村)坂本惠(北相馬郡東文間村)

**川崎課長** 座談會の進行を圖る爲に私が座長の席を汚します。先づ『調査員の活動を促す方法』に就て御意見を伺ひ度いと思ひます。調査員の活動は統計事務の要素をなすものですが其の方法は色々あると思ひます。訓練を試みるとか、優遇の道を講ずるとかいふ様な事もありませうが、皆様が直接指導に當られる立場から、どういふ方法が最も効果があるかといふ事を御懇談願ひたいと思ひます。助川若何か御参考になる事を伺ひませう。

**助川國勝** 課長様から御指定になつたので皆様の御参考になるかと思ひまして一言申し上げます。統計調査員會は一年に四回以上は開催する事が必要かと思ひます。第一に肝要なことは統計調査員には農民魂が必要である。此の農民魂を以て農村を益し國家を益する統計調査を爲さしむることが大切であります、私の村では三月二十二日から昨日迄各部落で經濟更生座談會を開きまし

たが村民に共存共榮の心がなければ經濟更生は出来ない。此の精神を涵養すると共に之が施設上最も大切なものは之と關聯する統計で即ち切つても切れぬ關係を有するものである。基礎的資料である統計が誤つてはよき計劃は生れないし住みよい村は出来ない。それだけに町村の統計主任は責任が重大なのだらうと思はれます。統計に立脚して其の町村に即した計劃を樹て各部落で其の趣旨を高潮して行く、斯うしなければならぬ、村民の自覺も茲になければならぬ。近頃は統計に基礎をおくといふ風になり統計の重要性が認められて來たのは喜びに堪へぬ。調査員も大いに鼻が高い事と思ふ。

又先進地を視察する事が必要だと思ひます。千葉縣御宿町では調査員に賦役を特免して居る、斯ういふ方法も調査員を發奮させる。又調査員の書類を調査して優良なものを表彰する、不完全なもの手を入れて再調査させる、打合

會の始めに調査員が材料を持寄つて準備的に照合し欄外記入をする事も必要であります。町村報等によつて調査事項を村民に周知させて置いて報告の結果に現はれたものと照合させるのも興味を唆るものと思ひます。調査員會議の出席手當か辨當を支給する事も督勵の一助になると思ひます。訓練會の時に部落的に出席證を設けて出席率を高める、甲乙の調査員が相互に助けて協同調査を實施する、實地調査には主任が巡回指導をする。重要調査とか複雑な調査の場合には日割を定めて指導者は調査員に臨み手傳つてやる。又調査の實際に當つては何れも忙しいので書類の様式なども成るべく簡易化し一字でも手數をばぶく様にしてやる、そして成るべく余剰時間を他の方面に振り向ける様にさせたいものです。調査用具を交付してやるのも便宜な方法かと思ひます。假令へば調査用の圖

板、状差、封筒等を與へる。私は斯ういふ封筒を考案致しました(實物を示す)封筒の中を切り取り役場と調査員の宛名を表裡に書いて差替へるのです之は一々宛名を書く手數をばぶいて便利なものですよ。

**川崎課長** 封筒を印刷しておく處もありますが賀美村の考案は大層結構だと思ひます。賀美村は事務の成績も良し調査員に對しても色々優遇して居る様で甚だ喜んで居ります。

**助川國勝** 將來は糞に申した御宿町同様賦役の特免までやりたいと思つて居ります。

**川崎課長** それから今の賀美村の誤を正すといふ事は良い、私の性分としては少しの誤りでも正す、統計に關する限りは誤りをなくする、統計事務の要諦は殆んど之につきると思ひます。今の問題について何か御意見がありますか……では次に移つて『町村民に對する統計思想普及方法』に就て御意見を伺

ひませう。此の事に就ては統計協會も縣と協力して映畫會を開催して宣傳に努めて居ります。昨年映畫會を開催致しましたのは三十四回で二萬五千以上の觀衆を集めました。町村としても統計思想普及には何か御考があるでせう。

**飯岡榮助** 私の村では特に力を注いで居るといふ事はないが調査時期に先だち半紙四切位のものに今度は何々の調査をやるといふ様な簡単な事を書いて配付し、農家組合の月例會の時に調査員や主任が行つて區内や村内の色々な數字を知らせて統計精神の涵養をし、又は統計調査は納税などには絶対に關係がないといふ様な話をする事にして居ります。

**川崎課長** 村報などは利用されませんか  
**飯岡榮助** 私の方では村報を各戸に配付して居ります。

**坂本恵** 村報については警察で出版法の關係もあるので取締がやかましく二ヶ

月で止めて了ひました。

**加藤由之助** 警察へ届ければ宜しいのではありませんか。

**川崎課長** 直接取締の衝に當る警官の手心で取扱も様々で、映畫會なども何處かで中止された所がある様ですね。

**大崎健爾** 私の方では經濟更生の映畫會を簡単にやれました。

**飯岡榮助** 一般の人は町村報を読んで呉れるでせうか、さうすれば非常に便宜ですから私の方でも更に統計に就いて登載して見たいものです。

**助川國勝** 村報などに記載する場合は文句を少くして項目を多くする様にしながら効果が有る様です。最近の例ですが苗木を希望者に配付すると村報に掲げたら、十四五名も申込者がありました。

**加藤由之助** 農家組合の集會の時役員が出席して統計に關する話をするのが徹底する様ですな。

**助川國勝** 部落集會の時統計圖表を見せ

るとよいと思ひます。

**川崎課長** 本縣内の町村では余り圖表に重きをおかないが千葉縣は非常に利用してゐる様です。

**加藤由之助** 茨城縣も十年たてばよくなると思ひます。千葉縣は今乗りきつて居るところでせう。

**川崎課長** 圖表は一目見ると概念が入るので非常に解り易い、視察に來た時など之を見せるのが理解するのに早い様です。是非本縣でも之を奨励したいと思ひます。次ぎは『一反歩收穫高決定の苦心談』を伺ひませう、種類とか面積は別として收穫高の決定は合議制となつて居りますが、實際に當つてどんなところに苦心されるかに就て藤地さん如何です。

**藤地伴介** 米麥特殊作物を先づ上中下に區別して適當に決めて最後に調査員と合議するのですが昨年の場合などを申しますと青作は上と見たものが收穫の時には下になる。下作の方が中作より

收穫が多いといふ様な實收になるといふ譯で篤農家や調査員の意見を聞いても中々うまくゆきません。

**川崎課長** 宇都野さん如何です。

**宇都野久三** 收穫決定に對しては調査員と區長と協議することにしておるが、二石の實收と見たものが坪刈では二石四斗となり非常な差が出来る。私の町では坪刈の結果の一段歩の收穫に比較して實收に於ては二割から二割五分を引いて決定した爲豫想と實收との相違が少かつたといふ様な事もありました。以前には坪刈をしようとしても中々承諾しなかつたものですが今ではよくなりました、早い頃には篤農家でさへ坪刈をやらうとしても承諾しなかつたものです。

**川崎課長** 坪刈は作柄に注意して其の個所を多くすれば自然實際に近い數が現はれ相違が少くなると思ひますが岡崎君如何です。

**岡崎輝吉** 作柄と收穫高の決定には苦心

坪刈よりも全刈の方が減する模様です。

**飯岡榮助** 今迄の經驗から見ると上中下と等差をつけて收穫の見込をたてるのですが、實際になると中や下の方は見込よりも余計に出る様です。

**岡崎輝吉** 坪刈の結果に就て調査員全体で收穫高の決定をするのですか。

**加藤由之助** 私の村は田が少く麥作を主として居りますが調査區毎に作柄、反別等に就て調査員から報告をとつて收穫高を決定しますが、標準は變更しない方がよい様です。そしてその標準に依つて作柄の階級を訂正した方が好いと思はれます。

**岡崎輝吉** 作柄決定後暴風とか螟蟲の被害とかあつた場合には再調するのですがなか／＼うまく出来ません。

**助川國勝** 私の方では青作當時に上中下の報告をさせ、更に再調査をさせて登熟期に訂正するといふ方法をとつて居ります。

**川崎課長** 調査區毎にやるのと全体の合議によるのどちらがよいかといふ意見がある様ですが……

**岡崎輝吉** 村全体となるとやりにくい様です。

**坂本恵** 例令へば一區と八區では收穫高が大いに違ふ。或る區では上中が多く或る區では中と下が多いといふ様な事もあるので調査區毎に意見を纏めた方がよい様です。

**助川國勝** 米の調査と同様他の農作物についても調査區毎にやるのが理想的だと思ひますが米作以外は實收状況を参考として坪刈と参照決定します。調査員の合議二日前に見込を出させ、會議の議題として調査區別に審議する様にして居ます。

**坂本恵** 私の村では調査區毎に坪刈をやリ、調査員、技術員、篤農家の意見を聞いて決定をやりませう。

**川崎課長** 調査區毎に審議するといふ事は非常に結構なことですが全調査員

して居りますが私の方では前以つて上中下の標準を決定しておきます。五大字を十區に別けてゐますがその大字について以前から上作か中作かを見込つけておいても上作が中作より減する場合もありますので調査員が持區の全刈をする事にしました。之を坪刈したものと一緒に協議會に提出させるのです本人の聞取を殆んどやらす、調査員が坪刈と全刈について協議決定するのです。

**川崎課長** 調査區毎にですか。

**岡崎輝吉** 大字毎です大字毎全刈をしようとして居ると對照協議するのです。尤も全刈といつても測量迄しなければ正確に近いものが判りませんから將來はそこ迄やりたいと思ひます。

**飯岡榮助** 其の点に就ては私の方では耕地整理が施行され耕地が整然として居るので恵まれて居ります。

**田村實** 私の方では中作を標準とし篤農家の意見を參酌して決定するのです

が凡ての作物に眞剣に調査をすることが出るかどうか色々危険もあるので現在は合議制として居るのです。調査區で決定したるものを資料として判定するといふ事になるので合議制の方が安全である、那珂郡から合議制を調査區毎に審議するといふ事に就て希望があつたが久慈郡などでは之と反對で合議制を希望してゐます。

**坂本恵** 現在の状態を改めるといふ事は困難ではないでせうか。

**岡崎輝吉** 貧弱町村などの問題もあつて自己の町村を有利に導くと云ふ様な町村もあり此の問題はなか／＼むづかしい問題だと思ひます。

**藤地伴介** 私の村などでは養蠶をやつて居るので統計調査は所得税の申告に關係があるところから隠して困ります。

**助川國勝** 冷害調査の場合統計調査を參考に聞きに來たがさういふ關係もあるので私は統計調査の結果を見せませんでした。

**坂本恵** 水害の時私の方でもお話の様になりました。

**川崎課長** 次ぎは「統計事務不振町村を無くすること」に就てお話を伺ひませう。

一同 之は大問題で六ヶ敷しいですナ。

**川崎課長** 昭和十一年の統計事務検閲の結果に依れば細則に依る調査方法實施の状況は水戸市は全部實施して居り、東茨城郡は三十二町村中實施したものが十八町村で十五町村が残つて居り、西茨城郡は十四町村中十一町村が良く三町村が不振で前年に比し二ヶ村向上しました。那珂郡は三十三町村中二十四町村が良く不振九、向上一で久慈郡は三十四町村中三十二が良く二町村が不振で向上一、多賀郡は四ヶ年連続して全部實施の記録を作りました。鹿島郡も二十二ヶ町村全部實施された事は御同慶に堪へません。行方郡は二十町村中十九町村が優良で不振一村四ヶ村の向上を見ました。稲敷郡は三十四町

村中二十七町村が實施し七町村残り一ヶ村向上致しました。新治郡は三十五町村中三十町村が良く五町村だけが不振として残り二ヶ村向上を見ました。筑波郡は二十七町村中二十二町村が良く五町村が残り前年同様であります。眞壁郡は三十一町村中二十九町村が良く二村が不振で一ヶ村向上し結城郡は二十七町村中二十一村の實施を見六ヶ村が残りましたが五ヶ村が向上しました。猿島郡も鹿島郡同様全町村が實施を見二ヶ村向上致しました。北相馬は二十四の内二十二が實施二ヶ村残り。以上の様な状況で年々不良町村は減じ十一年には二十八町村向上したといふ成績で敷年後には不振町村を全々なくする決心で居ります。其の方法はどうすればよいか。行方郡の如きは十年には五町村良くなり十一年には四町村向上して居りますから十二年度には全部よくなるものと思はれます。之は支部役員

の正木様の様に町村に臨んで側面から指導奮勵した結果によるもので鹿島郡の如きも或る村の如く支部の大崎君などが指導した爲に大いに成績を向上した所もある様です。さういふ例もあるのですからお互によい方法を教へ合つて不振町村絶滅に協力したいと思ひます。久慈郡は町村個々としては優れて居るが郡を單位として見ると不振町村が二つあります、之が玉に瑾で鹿島郡や猿島郡に一步を譲つて居る。東茨城郡は十五も不振町村があります。本縣の統計事務成績も今では全國の模範とされて居る状態では非僅かに残つた不振町村を一日も早く一掃したいものです。

**加藤由之助** 不振町村の絶滅といふ事は就ては各都會が町村を奮勵するのが一番よいと思ひますが。

**岡崎輝吉** 不良町村で調査員會を開いてはどうでせうか。豫算を計上しても調査員に手當をやらぬ所がある様に聞いて居ますが之などはひどいと思ひます

**大崎健爾** 不振町村の状況を見ると調査員が區長や町村會議員などで統計調査の方は名譽職だといふ考へから余り活動しない、之を交替してはどうでせう

調査員の奮勵は統計主任だけでは力が足りない、町村長の助力を俟たねばならぬと思ひます。

**坂本恵** 調査員の仕事も仲々容易でない余り活動しない調査員にやい／＼奮勵して調査をやつて貰ひましたが夜まで働かねば追いつけないのでとう／＼其の人は自發的に辭任して了ひました。

**川崎課長** 統計調査は一個の調査員の責任ばかりではなく全調査員が協力してやるべきで町村としても黙つて居る方がないのです。

**齋藤幹事** 稲敷郡では優良町村の主任が各自の部會より此の不振町村を無くすることにし其の不振町村に出かけて指導する様にして居る様ですが相當効果がある様です。

**正木邦司** 私の郡には不振町村が一つあります。甚だ遺憾で十二年度には全部町村とも完全に調査をしたい考へであります。支部として役員總動員で指導奮勵したことを申しますと主任に手當をかけぬ様に小票、其の他統計書類等の表紙を町村に配布する、そして文書の整理を統一する。又町村の訓練會には支部の役員が出かけて取扱について話し合ふ。此の指導等では細則に屬する調査をしないので話して見ると主任から話がなくて判らなかつたといふ様な譯で話し合ふのが肝要だと思ひます。優遇といつても手當は縣平均額程度にしそれ以上は精神的にやる様にしたいものです。例令へば慰安を兼ねた視察旅行をするとか、調査員の表彰をしたいと準備して居ります。調査員の活動

といふ事に就ては年齢も關係がある様で千葉縣(視察町村)では十七歳から四十歳位になつて居り若い方が活動能力がある様である。調査員と取扱者との密接な連絡が必要かと思ひます。

**油原眞** 縣の力でやつて貰ふのが一番有力かと思ひますがネ。

**飯岡榮助** 之がこちらが一生涯命でやつても向ふが受けて呉れなければ駄目なので仲々うまくは行きませんナ。

**川崎課長** 縣が直接指導するといふ事も出来るだけやつて居ますが町村の主任の方が積極的に働いて頂き、又は統計協會とか支部とかいふ團體の力を籍るといふ様な方法を講ずる、表面から攻めても効果がなければ裡から働きかけるといふ風にしたいものです。

**飯岡榮助** 各都會で責任を持って出来な

い事はないと思ひます。  
**藤地伴介** 郡内全部といふ譯にはいきませんが都會位ならば出来ると思ひます。今度は私も幹事になりましたから六ヶ

村位は責任を以つて改善したいと考へて居ります。

**助川國勝** 久慈郡に二つの不振町村があるのは申譯が御座いません。縣にも御助力を願ふと同時に主任が助力し眞剣にやれば改良は出来ると思ひます。眞剣の前に不能なしとか申しますが二三町村が協力してお膳立をすれば不振町村の主任も勢ひやらざるを得なくなるのではないかと思ひます。それで我々は御手傳的に出席して協力する、之を協會あたりで指定して頂くのはどうしたものでせうか。

**藤地伴介** 調査員の任期を決めて不良調査員を絶やすといふのは如何でせう。  
**助川國勝** 調査員といふよりも寧ろ主任ですナ。成績のあがらぬものは譴責するなどは……。

**川崎課長** 譴責などは所謂傳家の寶刀でなか／＼抜けるものではありませんヨ。  
**來栖吉一** 新治郡などは部會ではやれませんナ、講習會を縣で數ヶ所開催して頂けば結構ですが。

**飯岡榮助** 町村の統計主任に魂を吹き込んでゆく、それには縣の力を借りるのは勿論ですが附近町村が協力して後援助成するといふのがよいと思ふ。  
**川崎課長** 茲まで來ればもう紙一重で決して悲觀すべきではない。

**岡崎輝吉** 調査員が活動しないのは手當が少いからではないでせうか。  
**川崎課長** 必ずしもさうではない、猿島那飯島村などは僅少の手當でも相當活動して居り成績もあげて居ります。  
**横瀬定平** 私の方の二ヶ村などは現状のままでは到底改良は出来ない様です、然し改善の道が無いでもありません、古里村の戸頭さんなどに指導して頂ければ絶望とはいへません。

**中島良平** 私の郡には六ヶ村不振なものがあります、部會は四つあつて第一と第二は良く之等から第三部會に呼びかけて部會の力で町村を動かす様にした

せんナ、講習會を縣で數ヶ所開催して頂けば結構ですが。  
**川崎課長** 此の上とも隣保共助で斯道向上の爲御盡力を頂き度いものです。次は『統計協會に關する希望』に就てお話を伺ひ度いと思ひます。  
**助川國勝** 調査員の發奮を促す意味からしても統計大會を早く開いて頂き度いと思ひます。映畫會は今年二ヶ所所願ひしたいものです。  
**岡崎輝吉** 映畫會は一町村何ヶ所ですか  
**川崎課長** 一町村一ヶ所は輪番に統計協會の方で經費を負担しますが其の他は實費を申受ける事になつて居ります。  
**横瀬定平** 町村負擔金を倍にしても協會の力で督勵をしたり又は町村の希望に副つて貰ひたいものですナ。  
**川崎課長** 負擔金は三百八十町村を相手に考慮しなければならぬので増額などいふ事は困難かと思ひます。統計大會を成るべく早く開催したいといふ考

へから年々準備金を積立て、居ります  
が何しろ莫大な經費を要するのと適當な時機といふ事も考へなければならぬので今少し御辛抱を願ひます。  
**坂本恵** 茨城統計でも懸賞募集などをやつて見ては如何でせう。例令へば米收穫高の豫想などいふ様なものとか縣内の人口とかを懸賞募集するといふ様な事ですが。

**正木邦司** 統計協會創立の十月八日を統計デーと制定し協會の創立を記念すると同時に統計思想の普及を圖り、學校や役場などで統計に關する講演講話や映畫會を催すといふ風にしたら如何でせう。  
**川崎課長** 記念日は縣だけでやるよりも全國的に統一した方が効果があると思ふので縣で單獨に記念日を制定するといふ事は考へて居りません。

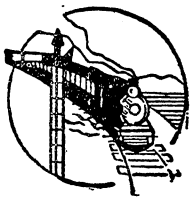
**正木邦司** 支部に對する補助を増額する様に考慮して頂きたいのですが……  
**川崎課長** 支部で色々な事業を計劃して

呉れればそれに対する補助を支給する事も出来るのですが支部によつては余り事業費どころか經費すらも持つて居ないものがある様な現状では補助も出来ない様な譯です。  
**來栖吉一** 支部の會合などを協會で充分督勵して貰ひ度いものです。現在支部に對する補助はどういふ風になつて居

ますか。  
**川崎課長** 今年始めて計上したものであつて額も少額であるが支部總會とか或は表彰の副賞の費用に使用して貰ふ豫定です。さて時間も大分たちましたので座談會は此の程度で閉ぢたいと思ひます。色々有益な御話を承り有難う御座いました。

**統計主任者異動**

- (上は新任括弧内は舊)
- 昭和十二年二月二十二日
    - 那珂郡瓜連町 平松 喜一 (龍崎由之介)
    - 全 三月十七日 行方郡延方村 根本孝之介 (小林 皞亮)
    - 全 三月十二日 那珂郡佐野村 照沼常次郎 (根本 富男)
    - 全 二月二十五日 久慈郡生瀨村 鴨志田次男 (鴨志田一徳)
  - 全 二月二十六日 久慈郡山田村 和田 達雄 (和田 靜)
  - 全 四月十日 久慈郡黒澤村 益子 惠 (益子民之允)
  - 全 四月八日 筑波郡小田村 平澤 政馨 (上山 正巳)
  - 全 四月十六日 那珂郡額田村 船橋丑之介 (小田倉 靖)
  - 全 四月七日 東茨城郡鯉淵村 大島淺吉(坂田太郎右衛門)



### 各地統計雜信

調査員諸君  
何なりと奮  
つて御通信  
を願ひます

#### 東茨城郡支部總會

縣統計協會東茨城郡支部總會は四月十七日午前十時半から東茨城郡農會事務所樓上に開催、縣統計課から川崎課長、小泉屬臨席先づ紀元節に表彰された統計功勞者の表彰傳達式を舉行、小泉屬の開會の辭に次ぎ川崎課長から

上大野村助役 横須賀孝太氏、石崎村農林商工統計調査員 櫻井俊男氏、小川町農林商工統計調査員 藤田東四郎氏に表彰狀並に記念品を授與し式辭朗讀後支部長粉川幸之介氏(山根村長)祝辭を述べ横須賀孝太氏の答辭朗讀を以つて表彰式を閉ぢ引續き研究會に移り川崎課長から縣提出事項の趣旨につき詳細な解説を試み小泉屬

き説明質疑應答、次いで郡支部より提出の左記事項に對し川崎課長より夫々答辭を與へ閉會した

- 一、統計に關する簿冊整備の件
- 二、調査員の統計講習會開催の件
- 三、統計事務檢閲日割變更に關する件
- 四、部會研究會に縣官出席方要望の件
- 五、縣補助金交付に關する件

#### 久慈郡支部總會

久慈郡支部總會は四月十三、十四兩日自治會館に開催、縣統計課より川崎統計課長及高島屬臨席、午前十時開會、紀元節の佳辰に表彰された高倉村書記吉成藤三郎、河内村調査員根本武、宮川村調査員近津壽、諸富野村調査員金子昇諸氏に對する傳達式を舉行し武藤町村長會長の祝辭あり終つて直に統計事務研究會に移り縣提出會議事項につき高島屬より詳細説明あり出席者交々立つて或は意見を述べ或は疑問を質し熱心に研究する處あつた

#### 多賀郡支部總會

から指示事項の説明あり就中統計調査材料の整備、統計協會に關する件に就ては川崎課長から補足的説明あり正午散會午餐を共にして解散した。出席者左の如くである(括弧内は町村名)

- 横須賀孝太(上大野)平戸清二(下大野)上田助役(稻荷)渡邊榮(大場)坂場儀三郎(酒門)長須書記(石塚)皆川藤左衛門(吉田)中村留吉(綠岡)藤地伴介(上中妻)寺山(長岡村)田家熊吉(上野合)眞家春吉(白河)林政雄(橋)高野林藏、藤田調査員(小川)大貫專之助、加納萬吉(堅倉)大島吉(鯉淵)大岡徹廣(中妻)安島彌八郎(飯富)蘭部力雄(山根)飯村定雄(石塚)岡部書記(小松)岡谷書記、西郷平賀誠(岩船)小林克(澤山)檜山不二雄(伊勢町)河

統計協會多賀郡支部では四月十四日磯原町役場で支部總會を開催した、各町村主任參集、縣よりは川崎統計課長及成瀬屬臨席紀元節に總裁より表彰せられた日立町書記大内健司、磯原町統計調査員野口友次郎兩氏に對する表彰狀の傳達式を舉行し、川崎統計課長より表彰狀を、瀧支部副長より賞品を夫々傳達して川崎統計課長の式辭、弓野同郡南部統計事務研究會長の祝辭、表彰者總代大内書記の答辭ありて閉式、それより支部總會に移り規約變更、副支部長の補闕推薦、昭和十二年度經費豫算を議決し尙縣提出事項は成瀬屬説明に當り質疑に答へ午後一時閉會した。

#### 鹿島郡支部總會

鹿島郡支部では四月一日輕野村役場に於て總會を開き酒井支部長の開會の辭に次いで統計協會總裁より表彰せられた上島村書記中根忠氏及輕野村統計調査員和田常夫氏に對する表彰狀傳達式を舉行し、川崎副會長より夫々傳達して式辭を述べ酒井支部長及輕野村長の祝辭及受賞者總代中根書記の答辭ありて傳達式を了へ引續き研究會に移

上秀雄(磯濱)佐藤岩次(大貫)

#### 西茨城郡支部總會

統計協會西茨城郡支部總會は四月八日笠間町役場樓上に開催、縣より川崎統計課長及菊池主事補臨席に紀元節に當り協會總裁より表彰せられた東那珂村統計調査員飯田幸作氏に對する表彰狀傳達式を舉行し川崎副會長之を傳達して式辭を述べ來賓の祝辭、授賞者の答辭ありて閉式し少憩の後縣提出の議案に付菊池主事補より説明あり質疑に答へ閉會した。

#### 那珂郡支部總會

那珂郡支部總會は四月十二日午前十時四十分湊町役場樓上に開催、出席者二十七名で、紀元節に表彰せられた戸多村書記堀江外男、芳野村農林商工統計調査員大和田龜吉、長倉村農林商工統計調査員鈴木知諸氏に對する表彰狀及び記念品の傳達式を舉行川崎副會長より傳達後式辭あり、大内支部長の祝辭、受賞者總代堀江書記の答辭ありて閉式、直に研究會に移り縣提出事項に就

り部統計主事補より縣提出事項に就て説明をなし質疑に答へ午後一時盛會裡に終了した

#### 行方郡支部總會

行方郡支部では四月二日午前十一時麻生町役場樓上に總會を開催、併せて紀元節に表彰された太田村書記萩原兵衛及手賀村統計調査員高塚茂十兩氏に對する表彰狀の傳達式を行ひ、川崎統計課長之れを傳達して式辭を朗讀、來賓として小貫支部長及箕輪麻生町長の祝辭、被表彰者總代の答辭あり、次で郡支部の表彰式に移り麻生町統計調査員永作久兵衛外二十名の諸氏に對する表彰狀並賞品を小貫支部長より授與し川崎統計課長の祝辭あり、續いて小倉屬より縣提出事項の説明あり各事項の質疑應答を重ね散會した。尙郡支部よりの被表彰者氏名は左の通りである。

- 麻生町統計調査員永作久兵衛、澄香村全千野根丑太郎、八代村全茂木市郎、潮來町全成井三好、津知村全岩本登、延方村全谷田久雄、大生原村全村山文作、太田村全平山正己、大和村全内田平八、津澄村

全大堀進、要村全齋藤彌作、武田村全高柳庄次郎、現原村全宇ツ木芳尾、立花村全荒井寅次郎、玉造町全小野口勇一郎、手賀村全高塚茂十、玉川村飯島幸藏、行方村全高野常吉、行方村全川尻熊司、小高村全大野仁

### 稲敷郡支部總會

稲敷郡支部では四月六日蠶業取締所江戸崎支所で支部總會を開催、縣よりは川崎統計課長及齋藤主事補臨席、紀元節に總裁より表彰せられたる龍ヶ崎町書記海老原美與太郎、駒栗村書記松尾貞三郎、朝日村統計調査員吉田孝之助諸氏に對する表彰狀並記念品の傳達式を舉行し川崎統計課長より表彰狀を、鴻巣支部長より記念品を夫々傳達し川崎統計課長の式辭、鴻巣支部長及川村岡田村長の祝辭、表彰者總代松尾書記の答辭ありて式を閉ぢ、引續き研究会に移り縣提出事項を齋藤主事補より説明して質疑に答へ閉會した。出席者は各町村長、助役並統計主任者四十餘名に達した。

### 稲敷郡第二部會總會

稲敷郡第二部會の總會は三月十日江戸崎町役場に開催、縣統計課より同郡擔任の齋藤主事補出席、午前十時五十分部會長福田江戸崎町長司會のもとに部會の昭和十二年度歳入歳出豫算の他の案件を異議なく可決の後、研究会に移り齋藤主事補より統計の重要性に鑑み細則に基く調査實施に就て要望あり、其の他統計調査員の指導訓練、統計書類の整理、報告書作成上の注意等詳細に亘り説明の上質疑應答を重ね午後二時閉會したが部會提出事項の中で特に注目されたのは部會統計事務刷新改善並部會員結束強化に關する件で細則に基く調査の實施を主眼目として互に探長補短同一歩調を以て邁進すべきことを誓約した事で、當日の出席者は部會長福田江戸崎町長並各町村長、助役、統計主任者で十六名であつた。

### 筑波郡支部總會

筑波郡支部統計事務研究会總會は四月十五日谷田部町筑波自治會館樓上に開催、紀

元節に協會總裁より表彰せられた筑波町書記酒寄泰、小田村農林商工統計調査員澤邊八郎、眞瀨村農林商工統計調査員瀧本白太郎諸氏に對する表彰狀傳達式を舉行し川崎副會長之を傳達して式辭を述べ久賀村長の祝辭、表彰者總代の答辭ありて閉式し、縣提出事項に付川崎課長並池田副局長より説明があつた。

### 結城郡支部總會

統計協會結城郡支部總會は四月九日宗道村自治會館に開催、義に紀元節に當り協會總裁より表彰せられた豊岡村書記中島良平、結城町農林商工統計調査員鈴木正三郎全宗道村齋藤源三郎に對する表彰狀並記念品の傳達式を舉行し、川崎副會長之を傳達して式辭を述べ來賓の祝辭、受賞者の答辭ありて閉式し、縣提出議案に付阿久津副局長より詳細なる説明あり質疑に答へ正午閉會した

### 猿島郡支部總會

猿島郡支部では四月十日郡農會樓上に各町村主任者が出席して支部總會を開催、縣

より川崎統計課長及菊池主事補出席、遠藤支部長の開會の辭に次ぎ義に本縣統計協會總裁より表彰せられたる幸島村書記赤岩啓四郎、櫻井村統計調査員梅田光四郎、中川村統計調査員瀧本治平諸氏に對し川崎統計課長より表彰狀を傳達し遠藤支部長より賞品の授與ありて川崎統計課長の式辭、遠藤支部長の祝辭、表彰者總代の答辭あり少憩の後總會に移り菊池主事補より縣提出の會議事項に就て説明をなし閉會した。

### 久慈郡學事統計事務所 研究會

久慈郡學事統計事務所研究會は去る四月八日久慈郡自治會館に於て開催され縣より高島副出席した、午前十時小祝町村長會幹事の開會の挨拶あり續いて高島副より學事年報製表に關する説明を各表毎に詳細説明ありたる後質疑應答をなし午後一時終了せり出席者七十七人の多きに達した。

### 多賀郡南部學事統計事務所 研究會

多賀郡南部學事統計事務所研究會は四月八

日河原子町役場に於て開催、縣より成瀬瀨出席して説明に當つた、學校職員の異動もあり此の調査に始めて從事する者もあるのて一同熱心に研究する所あつた、出席者は豊田會長(日高村長)町村主任學校職員等三十名であつた

### 稲敷の統計調査員會

稲敷郡阿見、舟島、君原、木原、安中の五ヶ村聯合統計調査員指導訓練會は四月十日阿見村役場に開催、縣統計課より同郡擔任の齋藤主事補が出席した、午前十時五十分、開催地たる中島阿見村長の開辭があつてから齋藤主事補より統計の重要性に鑑み各種調査の正確を期する爲め細則に基く調査方法の實施に就て激勵の辭あり續いて細則及縣提出の會議事項に付詳細説明の上質疑應答を重ね更に同役場裏に到り耕地に臨み實際の調査方法を研究し午後三時閉會した。當日の出席者は中島阿見村長、柳生舟島村助役及各村統計主任、調査員等五十八名である。

### 新治郡出島六ヶ村 統計調査員會

新治郡出島六ヶ村統計事務所研究會では志士庫村小學校に於て六ヶ村の統計調査員聯合訓練會を開催、縣よりは成瀬瀨出席して午前十時半開會、各種調査方法に付講習的に説明あり午後二時二十分閉會した、出席者七十名に達し頗る盛會であつた。

### 筑波郡北部統計事務所 研究會

四月五日同郡小田村役場に於て定例研究會を開催した。午前九時三十分開會、會長欠員につき飯岡副會長より開會の辭あり、續いて春季調査につき會員が各自体験に立脚して交々意見を述べて、同調査の完成を期しより以上の成績を擧ぐべく會員一同誓ふ。次ぎに後任會長として滿場一致北條町長神立越氏を推薦し、副會長並に飯竹北條町統計主任その交渉にあたることに決定して午後二時閉會。當日の出席者は左の如し(吉沼村)杉山書記 (大穂村)柳町書記

(北條町)飯竹書記 (筑波町)酒寄書記  
 (田水山村)松崎書記(菅間村)小笠原書記  
 (作岡村)高橋書記 (小田村)上山書記  
 (高道祖村)飯岡書記

四月五日交渉したれども即答を得る能はず引續き努力したる結果やうやく四月十日北條町長神立越氏の快諾を得同日會長に就任、十一日事務引續完了。幹事は柳町大穂村書記辭任して飯竹北條町書記が就任。

### 結城郡第三部統計 事務研究会

同會主催石下町外五ヶ村聯合の統計調査員會は四月二日午前十時より石下町尋常高等小學校に於て開催、縣より小泉屬が出席した。石下町山田書記の挨拶に續いて小泉屬より昭和十一年度統計事務監査の結果に基き一段の努力を要望したる後石下町第五調査區大海道附近の實地豫習地を全員が夫々實地に調査し、一筆毎に詳細に之が調査及取扱方に就き説明、注意を與へたる後縣提出の會議要項に依り研究討議し午後三時閉會した。出席者は役場員八名、調査員三

十九名であつた。

### 染和田村視察

稻敷郡朝日村統計調査員十八名は四月二

### ◇擔任郡の變更

統計課では今回の異動に伴ひ、左記の通り擔任郡が變更された。

松井主事補	池田屬	筑内屬	成瀬屬	渡邊屬	新擔任郡	舊擔任郡
筑波郡	眞壁郡	北茨城郡	多賀郡	新治郡	新治郡	西茨城郡 北相馬郡
		眞壁郡				

十一日横田助役及白田統計主任に引率されて久慈郡染和田村の統計事務を視察したが其の途次縣廳を訪れ記念撮影の上廳内を見つて夕刻歸村した。(口繪参照)



### 千葉縣統計模範村

### 富里村視察の記

久慈郡中里村調査員 生田目春吉

四月四日鶏も目さめぬ朝まだき多年の宿望を茲に達成すべく同行十三名潺湲たる清き里川の流れに沿ひバスを驅つて一路水戸驛に向ふ。六時半上野行車中の人となりぬ、暗雲低く垂れて天候いとも險惡なり、車窓より常磐神社を拜す、公園南崖の梅枝も今は既に實子を結びては、ありし日の賑ひを想ひ起すに止まるのみ。頃しも雨は降り來りぬ。朝雨と女の腕捲りに慓くなと誰かが快活に笑ふ。汽車は程なく友部に着く、驛頭の老櫻花唇正に二三分、雨に惱む風情も亦興一入深く一行の視線齊しく之に集る。

雨は刻一刻点滴を増し視野全く開けず興更になく、石岡も過ぎ、大土浦も間近ならんとする時、雨は小歇みとなりぬ、名だる櫻川の長堤春雨の中に淡紅濃白の艶姿をあらはし、筑波の靈峯は半ば雲霧の中に隠れて聳ゆるなど宛ら一幅の畫を見るが如し。  
 蜿々長蛇の如き大利根橋も束の間に汽車は何時しか我孫子に着く、是より分岐一路成田に向ふ、雨はやうやく歇んで視野やう／＼開け垣々として青く見ゆる畑の麥生、点々そが中を織りなす菜の花田あり、平和な幾驛かを過りて成田に着く、又しても雨は降り來り

### 統計調査員異動

(上は新任括弧内は舊)

昭和十二年三月五日	北相馬郡高須村	矢口歌之助	(矢口 芳男)
全 三月八日	稻敷郡岡田村	山越進一	(増 設)
全 二月二十七日	久慈郡河内村	石川年男	(田所 常雄)
全 四月五日	久慈郡小里村	佐藤長次	(佐藤 信紀)
全 四月十七日	多賀郡松原町	川井武	(堀田 富春)
全 四月十八日	稻敷郡本新島村	大堀勝重	(増 設)
全 三月二十四日	新治郡石岡町	木村綾之	(額賀啓三郎)
全 四月一日	那珂郡平磯町	杉村季之助	(櫻村 富夫)
全 四月五日	(増 員)	山崎政一	(増 員)
全 四月五日	新治郡美並村	廣木勝利	(増 員)
全 中田憲亮	新治郡美並村	中田憲亮	(清水源重郎)



ぬ。是より里余バスを驅つて目的地富里村を訪ふ。道々畑廣きところ麥生豊かに茂り、人家点々として其間を縫ふ一見平和敦朴の郷たるを偲ばしむるに足る、程なく役場に着く、刺を通ずれば豫て待ち倦ぐみしものゝ如くいと懇懇に一室に招ぜらる。茲には歴代村長及村治功勞者の寫眞を掲げ正面には忠君愛國の扁額を捧じて常に和心協同其徳を慕ひ以て村治の圓滑を圖るなりと云ふ。

村長殿合憎他出不在の由、統計主任(尊名失念)殿より具さに状況を拜聴す山積されし統計書類備ふる所戸口調査原簿、農業者調査原簿、田畑作付反別原簿、耕地字別土地臺帳、未作農家一覽及統計調査基準簿、如年上現在調査簿、公私有林野面積調査臺帳甲乙二冊、養蠶調査原簿、家禽家畜調査原簿調査用見取圖等十指を屈する簿冊流石は統計模範村たるの名を恥しめざる資料の豊富さ。此村は戸数千五百五十余

ものゝ好参考たるべきもの數多く此觀にして此子あり今回の大臣賞も宜なるかなと感嘆措く不能りしも如何せんタテムの進むに可惜滿腔の謝意を捧げて辭去す。

再び成田へ戻る、雨の歇みしを幸と不動尊に詣す、雨にも怯げず善男善女の群夥しくさしに廣き境内も正に人の渦、今を盛りと咲き誇る櫻を愛で、遊歩するもの引きもきらず流石開基正に一千年を關すといふ關東屈指の大靈場たるを偲ばしむるに足る、是より一路木更津に至りて泊す。

明くれば、五日夜來の雨も何處へやら、春光はいとも麗らかに吾等の行を旺にするかに見ゆ、町内名所を一巡して車上の人となり千葉市に向ふ。此邊り氣候極めて温和にして積雪の如き珍らしき現象なりといふを聞くに至りて吾等一昨年の冷害を想起し轉た寂寥の感なき不能ざるなり。檜葉過ぐれば車窓に映ゆる東京灣は渺茫として、遠く

戸、人口八千八百五十有余人、村豫算五萬七千七百餘圓縣下有數の大村にして雑地合せて一調査區平均百八十餘町歩とは聞くだに愕くのみ、二十一名の調査員を督勵して常に調査に萬遺漏なきを期し居るといふ。本春此村に於て農林大臣より選奨の光榮に浴せるといふ調査員平川清氏の調査記録を翻くに及んでは其周到さ綿密さ全く渾身の努力の跡歴然たるものあり。殊に氏の尊父吉松翁の曾て調査員たりし頃の事蹟には全く敬服の外なく氏は明治元年生れといふから今年古稀の齡を重ねしに、元氣頗る旺盛克く壯者を凌ぎ、本日吾等の爲めに折からの泥濘をも物ともせず一里余の道を役場に馳せ來るなど全く感極まれりと云ふべく、特に氏が最も苦心したりといふ氏獨特の字眼見取圖の精巧さ、當年區内水陸稻品種分布狀況及品種別豊凶統計表等をも作製して、農家經營の指針としたるなど全く驚異に値すべく、其他吾々斯道に携る

霞の中に二つ三つ白帆の浮べるあり、眼を轉すれば此の面彼の面に咲き誇る桃の紅る麥浪の中に点綴してその姿いとも美しく所々絮を拾ふ乙女子の姿も亦長閑けき春の姿なるべし。此地梨園桃園いと多くして果樹園藝の盛なるを思はしむるに足る。何時しか千葉市に着く、花に包まれ春陽燦々と降り注ぐ縣廳を訪ふ今關統計課長殿より縣下統計に關する概況として縷々二時間に渉る講話を拜聴す、縣下三千四百有余人の調査員をして一糸亂れぬ統制下に指導するあたり正に巍然として全國に冠

たる統計千葉の存するを首肯するに足るものあり。乞はるゝまゝに記念撮影を爲し廳屋上に昇る、俯瞰する所千葉全市を一眸に集むるを得春陽麗らかに爛漫たる櫻花と春風のそれに和して宛ら天國に遊ぶの感あり、憩ひもしばし、眺めを惜しみつゝ厚意を謝して此の門を出ず、是より阿蘇村も共に視察せとする豫定なりしも、時間與其他種

四月十五日 新治郡十利出村 (服部覺之亮)  
四月十二日 (萩原近之助) 稻敷郡木原村 (本藤 良助)  
沼崎善一郎 (沼崎松之助)  
坪井島五郎 (根本 孝一)  
四月九日 稻敷郡長戸村 (大野芳太郎)  
北澤 彌 八  
四月八日 中山 有 (増 設)  
野澤 重平 (全)  
小林 昇中 (全)  
眞 仲 彰 (全)  
四月五日 北相馬郡大井澤村 (須賀 正雄)  
浅川 重太郎 (野口利右衛門)  
四月五日 猿島郡逆井山村 (多賀郡坂上村)  
石山 徳太郎 (黒澤 重秀)  
四月二十日 (那珂郡小瀬村)  
豊 島 常 吉 (赤上 新市)  
四月十五日 那珂郡靜村  
岡崎 信 司

全	四月十五日	新治郡十利出村	(服部覺之亮)
全	四月十二日	稻敷郡木原村	(本藤 良助)
全	沼崎善一郎	(沼崎松之助)	
全	坪井島五郎	(根本 孝一)	
全	四月九日	稻敷郡長戸村	(大野芳太郎)
全	四月八日	中山 有	(増 設)
全	野澤 重平	(全)	
全	小林 昇中	(全)	
全	眞 仲 彰	(全)	
全	四月五日	北相馬郡大井澤村	(須賀 正雄)
全	浅川 重太郎	(野口利右衛門)	
全	四月五日	猿島郡逆井山村	(多賀郡坂上村)
全	石山 徳太郎	(黒澤 重秀)	
全	四月二十日	(那珂郡小瀬村)	
全	豊 島 常 吉	(赤上 新市)	
全	四月十五日	那珂郡靜村	
全	岡崎 信 司		

全	神永政之介	(大内捨次郎)
全	中村 勇	(山崎角之允)
全	四月二十五日	那珂郡野口村
全	諸澤 清 嗣	(長山 茂樹)
全	田邊平三郎	(田邊 周七)
全	四月十八日	結城郡絹川村
全	杉田 祐 作	(佐藤 豊吉)
全	塚原 勝 江	(塚原 敏正)
全	藤井清五郎	(大木 榮吉)
全	山中 理	(野村 正夫)
全	齋藤 茂	(石島 弘)
全	四月十二日	結城郡安齋村
全	小野寺 長三郎	(飯田利之助)
全	中島柳三郎	(堤 二郎岩)
全	英木彌太郎	(小川志之助)

中部日本府縣 統計課長會議

名古屋市中に開催され 川崎課長が出席 中部日本府縣統計協會長並統計課長

々の都合に今後を約して歸途に就く、前後二日吾等一行の縣外視察の茲に徒爾ならざりしを喜び採長補短吾等の統計事務に刷新を加へ精進是つとめ以て



## 統計優良村視察記

磯原町統計調査員 鈴木俊雄

三月十八日

此の日天麗かに晴れ渡り絶好の日和なり、吾等同勢八名が統計調査優良村視察の爲め本町長瀬統計主任引卒の下に二臺の自動車に分乗し目的地たる久慈郡賀美村及び本縣縣廳への見學の旅につきたるは正に午前七時なり、爆音勇ましく南を指して走る、楯形村より右折し黒前村を横斷し羊腸たる山路を西へくと進む、曲折多けれど坦々として砥の如き道路なり、近時農村土木

國家非常時克服の一助たらしむべく最善の努力を各まざる事を契ひて筆を擱くものなり。(四月十七日記)

匡救事業の顯れかと頷る。

午前九時賀美村に着す、南北に流るゝ里川の清流に沿ふて人家あり、西東は山に囲まれて恰も桃源郷もかくやと思はれ純朴なる農村との印象を深くす直ちに役場を訪ひ助川統計主任の『ようこそ御出で……』の溢るゝばかりの愛嬌に、聞けば長瀬書記とは舊知の間柄とか、直ちに樓上に導かれ机上に山積された統計上の諸種の書類を見て又助川書記の諄々と説く統計上の有意義

協議會は四月二十一日愛知縣名古屋市愛知縣商工會館に於て開催、参加府縣は三府二十縣に達し本縣より川崎統計課長が出席した、提出された協議事項は左の通りである

### ▲統計機關に關する事項

- 一、中央省局に於ける統計機關の擴充及統制と統計的諸懸案即行方要望に關する件
- 二、統計機關の統一整備實現に關する件
- 三、統計機關の整備充實に關する件
- 四、町村統計專任吏員に對する國庫補助實現に關する件
- 五、皇紀二千六百年記念統計改善施設として市町村統計行政機構の擴充強化に關する件
- 六、統計調査員は國に於て任命せらるゝ様要望するの件
- 七、統計調査員の待遇改善に關するの件

### ▲經費に關する事項

- 八、農林商工統計調査費の全額を國庫負擔と爲すの件
- 九、米生産統計改善補助金増額の件
- 一〇、地方統計協會事業施設に對し國庫補助金交付方建議の件
- 一一、地方統計團體に獎勵金交付方要望の件
- 一二、地方統計協會に對する國庫補助に關する件
- ▲各種統計調査に關する事項
- 一三、中小商工業センサス實施建議に關する件
- 一四、商工業センサスの施行に關する件
- 一五、小工業調査實施方に關する件
- 一六、商工業調査實施に關する件
- 一七、昭和十五年國勢調査に關する件
- 一八、米作地一齊調査に關する件
- 一九、農業實地調査の實施促進に關する件
- 二〇、産業統計改善整備に關する件

なる体験談には其の陰に潜む各調査員の努力の跡が偲ばれて一行感を深うし殊に獨特考案になる調査書類及正確なる計數表等極めて好參考資料多く、誠に一驚を喫したり。

宣なる哉、今や全國に高鳴る統計熱の眞只中に而も統計模範村としての内容實蹟を具さに見聞し吾等得る所頗る甚大なりき、見學の厚意を感謝しつつ、尙も茶菓の饗應に接し種々懇談の中に助川書記の曰く折角之までの御足勞なれば之より矢祭山袋田の名瀑を探勝しては如何との事に、さもあらんと忽ち議一決し懇ろに厚意を謝して辭去す、時に午前十一時なり。

直ちに、車中の人となり、それより北進又躍進スピードを出して遠く福島縣に入る、東館を過ぎ暫くにして溪谷の山中漸く迫り奇岩怪石又多し矢祭山に達す、

巍然として雲際にそびゆる奇峯は恰も襖畫の如く石峯岩巒重疊として屹

立し天然の勝景造物の妙化を生みて一代の文豪大町桂月先生をして『關東の耶馬溪』と推賞せしめたる誠に良く穿ち得たるもの哉と感嘆久ふせり。

此の地往時、源義家朝臣、奥州征討の途すがら此の山上に軍矢を祭り依つて此の名ありと云ふ、石碑あり、又山上に矢祭神社あり、古歌に曰く  
心ある人に見せばや陸奥の  
矢祭山の秋の夕暮

誠に絶讚に價する所なり、吾等時間だにあらば尙久しく望見し眞の夕暮の景を賞せんと思へども先をば急ぐ行程名残り惜しくも矢祭を後にして愈々憧憬の地袋田へと走る。

自動車を下りて先づ耳に入るは遙かにきこゆる、瀑音と目に映ゆるは兩岸の峯巒、一行の心は躍りつゝ土産物賣店のサーピス嬢の聲も耳に入らず寸時も早く瀧へと心は急ぐ、

羊腸たる徑を辛うじて幽邃なる瀧見大堂の前に至る、高さ五十丈幅四十間

四段に落ちる水の瀨は岩壁に碎けて白玉を轉すが如く白錦を打振るが如し凄味無く喰味なく自然の和やかな名瀑として天下一品の名稱も敢て過賞にあらざると思はる、吾等一行しばし其の景觀に打たれ嗚呼の嘆聲を洩すのみ禿筆の能く盡す所にあらず、此の一大仙境に暫し俗念を忘れ、忘我の詩を誦する心地して羽化登仙の思ひにて、そらろに水戸藩主武公の歌が偲ばれる、

白糸を紅葉のひまに、ひきはいて  
錦織りなす袋田の瀧

身は仙境にあり退去を欲せざるも時間の都合上、後髪引かるゝ心地して下山す、それより袋田温泉ホテルへと車を運ぶ新築の設備すが／＼しく直ちに入湯す、湧出量の大なる適度の温湯に浸つて身体のび／＼と誠に快感を覺ゆ、浴後若干の淺酌にて忽ち本日の車中の疲勞も解消し、麗恨の給仕にて晝飯を喫し久しく陶然たり、余暇だにあらば、二三日の逗留も亦良ろしからん

など、談笑し再來を期して辭去す、更に車中の人となり、男体山、月居山はては安寺持方等を遙かに望見しつゝ久慈川の溪流に沿ふて走る、兩岸の奇峯岩槽誠に筆舌に盡し難く正に一幅の良畫なり、殊に此の山險を征服して敷設せし水郡線を見て科學の力の偉大なるを一入痛感せり

上小川西金等に路は下坂なれば自動車エンヂンもいと軽く超スピードを以て進み那珂郡に入る、山方宿を過ぎ大宮町に入る、眼界漸く開け、一望の耕地は小麦の作付多く伸長も又佳良なり、昨夏の小麥暴騰にて、かくも一面に作付せし事ならんげにや那珂郡は本縣一、否全國に冠たる大小麥の生産地なると種々車中にて語る中、早くも那珂川を渡りて水戸に入り、縣廳構内に停車す、直ちに統計課を訪問し種々課員の説明にて新機械等、見學しそれより川崎統計課長より懇篤なる訓話を賜り玄關前にて記念撮影をなし廳内を遍

### 統計課員異動

多年統計事務に従事せられ、郡役所廢止と共に統計課の獨立以來、主席屬として本縣統計界の爲に盡瘁された小林緑氏は去る三月末日退職せられた爲左の通り統計課員の異動が發令された同氏は本統計協會の創立にも多大の功績ありしのみならず、創立と共に本會幹事として會務の發展上にも貢献尠からざりしもので其の勇退を惜しまれてゐる。

- |                      |   |                         |
|----------------------|---|-------------------------|
| 依願免本官                | 屬 | 小林 綠                    |
| 統計主事補                |   | 小倉 英二                   |
| 任茨城縣屬                |   | 松井 桐紫                   |
| 縣書記                  |   | 松井 桐紫                   |
| 茨城縣統計主事補=任ス(以上三月卅一日) |   | 尚左に伴ひ本會幹事及會務委員も左の通變更された |
| 會務委員                 |   | 渡邊 健吉氏                  |
| 本會幹事ヲ囑託ス             |   | 松井 桐紫氏                  |
| 本會會務委員ヲ囑託ス           |   | 小井 桐紫氏                  |
| 本會幹事ヲ解ク(以上四月一日)      |   | 小井 桐紫氏                  |

く巡視し、屋上展望所に上る、大水戸市を一陣の中に望みて殊に夕景一入の感あり日も西山に傾きたれば歸路に就く吾等は農人形に敬意を表して久し停む

あの一蓑一笠の質素なる農人形の姿は農業國茨城縣のシンボルかと思はれ水戸烈公の『朝な夕な』の歌も思はれて殊に床し、一行謝意を表し廳門を辭す、時正に午後五時過ぎなり、又々車中の人となりて歸路につけり、快速力を以て疾走又疾走一時間有餘にして磯原に着す、疲勞を慰する意味にてさゝやかな夕飯を喫し、一日の見學談に花が咲き懇談又快談數刻を過ぎるも盡きず時間を見れば正に九時を過ぎんとす、又の會合を約して各々家路に就く。



### 統計調査員の信念

眞壁郡五所村 谷貝英二

新緑あふるゝ五月、農家は田植を始

め耕作に如何程か忙しいことせう、朝は雞鳴に先んじ、夕は星をいただいて返る田畑の仕事は全く文字通り一寸の油断もなく邁進のことと思はれます、かかる多忙の中にありまして寝前の寸暇に晝間よく觀察されましたところの詳細なる統計の調査にあたられますことは洵に感謝に堪へない次第であります、尙一層我こそは正確なる此の調査を自負し得らるゝだけの信念を持ち、國家の一員として活躍せられん於ことを祈つて止みません。三月號にて總裁閣下より統計は難局打開の鍵と云はれた、本縣統計界は完成の域に向つて愈々進歩發展し、正しき數字の紙上に表はれて行くのを見ることは、我が縣民全体の喜びであり且又農村更生への大きな指針となる事を信じて疑はないのであります。

× × × × ×



短歌

丹 四郎 選

「春雜詠」「空」

結城郡豊加美村 沼尻 幸右衛門

鍬かげの裏田の池に鳴く蛙宵あたたかき雨降りにけり

畦のべに抜き捨てられし小松菜はひよろ／＼として花もちにけり

麥畑の草抜き居れば小さき蜘蛛走り出でしが麥にかくれぬ

新治郡藤澤村 吉沼 喜一郎

昨年に伐りし稻架の松の皮の春は乾きてむきがてぬかも

西茨城郡大原村 來栖 浩太郎

山遊びの子が折りて來し蕨の芽手の温みにて萎れ居にけり

行方郡大和村 内田 六統生

桑苗を植多終りたる夕空の深き曇りは雨となるらし

眞壁郡五所村 谷貝 英二

あたゝかき春の光を背にうけて芋苗を床にふせて居りけり

北相馬郡菅生村 倉持 保光

歐亞空路制潮の飛行了したる躍進日本の神風の名ぞ

庭くまの小米櫻の花白く眼には見えつつ暮れ深みゆく

久慈郡金砂村 菊池 喝谷

春の日のすでに落ちにし空にして暮れ残り居り金砂山は

水戸市袴塚町 大高 靜香

ひと雨へ傾に深みし春の日の窓への櫻おほかた散れり

北相馬郡東文間村 堀 越 宵雪

窓越しに射しくる春日浴びにつゝ統計調査に餘念なかりし

稻敷郡生板村 大野 芳雄

我心雲雀なりせば大空に世を一目にもなきてみなまし

那珂郡玉川村 寺門 行

晴れわたる空よりもよし花くもり夜のおぼろのそぞろあるきは

北相馬郡菅生村 倉持 保光

浮くとなく沈むともなき金魚かな

西茨城郡大原村 來栖 浩太郎

日曜の校舎靜かに木の芽晴

北相馬郡高野村 倉持 公太郎

陽に乾く土の匂ひや木の芽ふく

久慈郡金砂村 菊池 政雄

噴水へ集まりあそぶ金魚かな

西茨城郡穴戸町 内桶 柳水

先生を圍む畫餉や木の芽晴

水戸市袴塚町 大高 靜香

店頭に金魚屋憩ふ人ばかり

行方郡武田村 鳥次 ゆた香

金魚玉さんらんとして灯を弾く

新治郡瓦會村 増子 よし女

鯉と飼ふ尾なし金魚のぶる／＼と

次回課題

「初夏雜詠」「梅雨」



前田 猶 春選

題「金魚」「木の芽」

行方郡延方村 黒須 恵三郎

東ね桑解きぬる人や木の芽晴

稻敷郡君原村 小松澤 霞翠

薄月夜ふと觸れし木の芽立かな

筑波郡小田村 前川 泰明

雨あがるたそがれどきの金魚店

○ 同 人  
白ほりの摘んでくれたる木の芽かな

○ 同 人  
朴の芽のほぐるゝ風を思ひけり

○ 同 人  
行方郡大和村 内田 六統生

○ 同 人  
遼芽をふく樹々の映りけり

○ 同 人  
理髪店の鏡にうつる金魚かな

秀逸

○ (寛) 茨城縣土浦町大町 内田 櫻川子

○ 同 人  
たまさかに人來る寺や木の芽晴

○ 同 人  
傘にひく油匂ふや木の芽垣

○ 同 人  
人來れば咲ゆる犬居て木の芽寺

○ 同 人  
水させば靜かに動く金魚かな

次號課題

題「箱庭」「蟬」通じて五句

締切 七月一日限

宛名 縣統計協會文藝係



柳川

山中緋郎選

「電話」

眞壁郡五所村 谷貝英二

電話口話しが出來た子の自慢

猿島郡幸島村 塚原定吉

電話室何か嬉しい事を秘め

行方郡延方村 黒頃一雅

笑ひ聲だけが洩れてる電話室

東茨城郡石塚村 櫻井星光

支配人電話でばかり笑つて見

西茨城郡突戸町 内桶柳水

辻電話待つ間吸殻踏みじり

水戸市袴塚町 大高静香

ひとつとした電話それから言は切れ

佳作

新治郡土浦町 内田 櫻川子

宿直へ電話のベルの夢うつゝ

次號課題 「海」

締切 六月二十日 葉書五句以内

宛名 茨城縣統計協會編輯部

電話から誘惑をする 甘く聲

鹿島郡豊城村 林 庭洋

長話ししたい電話へ社長が來

眞壁郡川西村 大久保 小星

ご返事は電話でと言ふあつけなさ

筑波郡島名村 鯉淵 白蓼花

戀知つてからの娘の電話なり

那珂郡柳河村 木内 紅楓

戀人が出てる電話へちとどもり

行方郡大和村 内田 六統生

叱られて舌出してゐる電話口

東茨城郡石塚町 田上 光夫

電話口待たせた揚句留守と言ひ

行方郡武田村 鳥次 とり坊

新設の電話さ細な事もかけ

北相馬郡東文間村 宵雪 迂人

### 編輯後記

× 何時の間にか新緑初夏の候となつた。春季調査の忙しきから引續いて夏季調査である。自分の仕事を終へてほつとする間もなく之等の調査に活躍される統計調査員と町村統計關係者各位の減私奉公の精神と不撓の努力に敬意を表する

× 本號は各郡統計主任中から選ばれた人達によつて試みられた統計座談會の記事に依りて些か光彩を添へ得たと思ふ。將來も斯ういふ經驗に基く實益のある讀物を澤山集めたいと思つて居る。讀者諸君から質疑、感想、經驗記といったものを寄せられる事によつて紙上座談會が形成されるのである。

× この意味からいつて本號に統計相談欄が掲載されなかつたのは遺憾である。春季調査等で統計主任諸君も調査員各位も多忙を極めた爲ではあらうが忙しければ忙しいだ

け色々な事によつつかるであらう。そのうちには疑問や不審も相當あるだらうし相談欄も相當に賑ふ筈だつたと思ふがそれが誌上に表はれなかつたのは誠に残念である。將來は毎號欠かしたくないものである。

— 加藤敬愛 —

昭和十二年五月十三日印刷  
昭和十二年五月十五日發行

(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳

茨城縣統計協會内

發行兼

編輯人 川崎 未吉

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷人 柴 博

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷所 柴 印刷所

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内

發行所 茨城縣統計協會

## 茨城統計と廣告の効果

『茨城統計』は縣下三百七十九ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種團體、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

◆本誌の廣告料金は左の通りです

特別(一頁(表紙表裏)) 金拾五圓

半頁(同) 金八圓

普通(一頁) 金四圓

半頁(同) 金貳圓

四分ノ一 金貳圓

同一廣告を引續き二回以上のときは

一割五分、五回以上のときは二

割の割引をします。

▼廣告に寫眞挿入又は木版を要する

ものは其の費用を別に申受けます

▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内

茨城縣統計協會